

第3節 生物の現状把握

1. 生物の現状

1.1 野洲川の特徴



河口部



落差工上流部



1. 生物の現状

1.1 野洲川の特徴



A

河口付近

- ・直線的な人工護岸
- ・中洲の発達
→ヨシ群落
- ・河床は砂、砂泥

B

服部大橋付近～落差工

- ・直線的な人工護岸
- ・流路の蛇行
→ 点在するワンド
- ・河床は砂、砂礫

C

J R 橋梁付近

- ・多様な護岸形状
- ・瀬、淵の存在
- ・高水敷の公園利用
- ・河床は砂、砂礫

D

名神橋梁付近

- ・多様な護岸形状
- ・複雑な水域
→瀬、淵、ワンド
- ・河床は砂礫

1. 生物の現状

1.2 魚類



- ・全体として、オイカワ、トウヨシノボリ、ブラックバスの個体数が多い



オイカワ



トウヨシノボリ



ブラックバス

- ・琵琶湖からの遡上種は、主に落差工下流 (A B) に分布



ウツセミカジカ



ゲンゴロウブナ



ヌマチチブ



ビワマス

1. 生物の現状

1.3 底生動物

- ・ハエ目、カゲロウ目、トビケラ目の種が中心



A

- ・底泥に生息する種が中心
- ・優占種
夏：ユリミミズ
冬：フチグロユスリカ
春：ユリミミズ

B

- ・カゲロウ類が中心
- ・優占種
夏：ヒメトビイロカゲロウ
冬：オオマダラカゲロウ
春：オオマダラカゲロウ

C

- ・造網型のトビケラ類の生息域
- ・優占種
夏：ウルマーシマトビケラ
冬：クロマダラカゲロウ
春：オオマダラカゲロウ

D

1. 生物の現状

1.4 植物

A



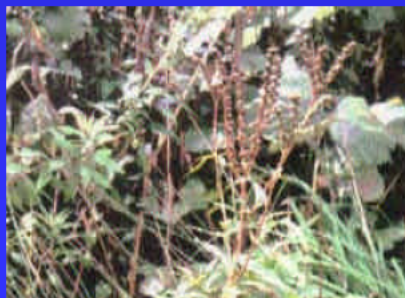
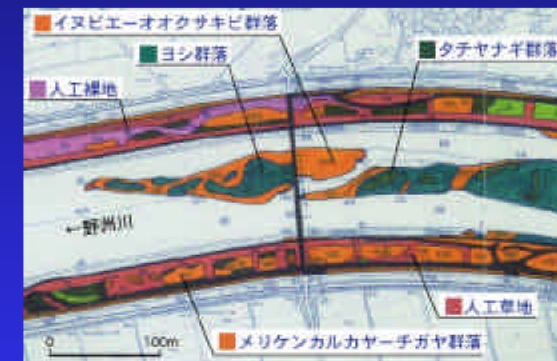
- ・ 中洲にまとまりある湿生群落

ヨシ、マコモ、キュウスズメヒエ等

- ・ 高水敷の植生

セイタカアワダチソウ、チガヤ等

- ・ 特定種



タコノアシ



オオマルバノホロシ

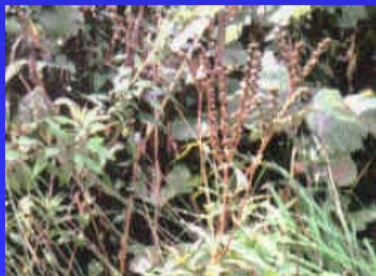
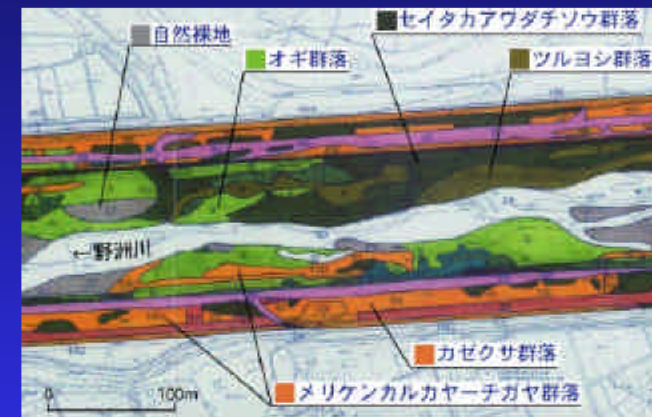
1. 生物の現状

1.4 植物

B



- ・ 低水路内は蛇行し、寄り州が形成
オギ、ツルヨシ、砂礫地等
- ・ 高水敷の植生
セイタカアワダチソウ、クズ
- ・ 特定種



タコノアシ



カワヂシャ



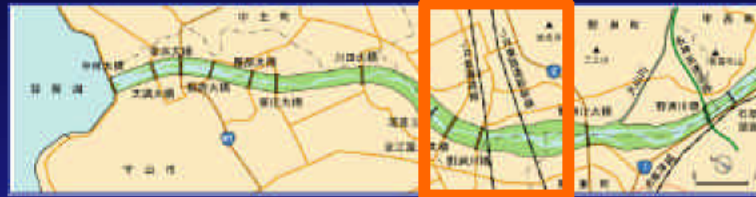
カワラハハコ



マツカサスキ

1. 生物の現状

1.4 植物



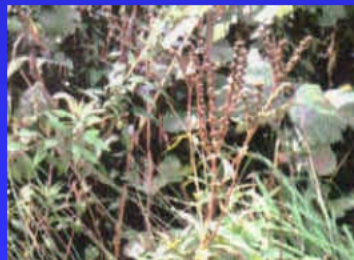
- ・ 川幅が広く、広大な中洲や寄り州が形成

オギ、タチヤナギ等

- ・ 高水敷の植生

メヒシバ、セイタカアワダチソウ等

- ・ 特定種



タコノアシ



1. 生物の現状

1.4 植物

D



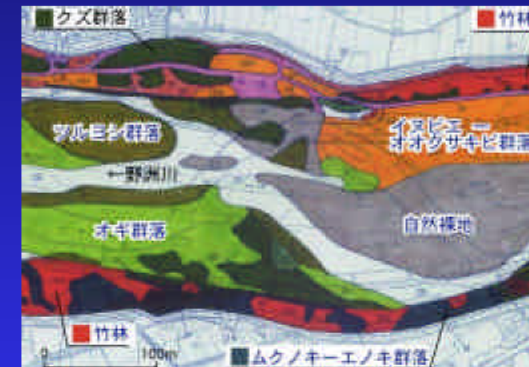
- ・ 川幅が広く、広大な中洲や寄り州が形成

オギ、オオクサキビ

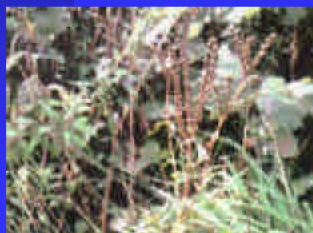
- ・ まとまりある湿生群落（ツルヨシ）

- ・ 高水敷の植生

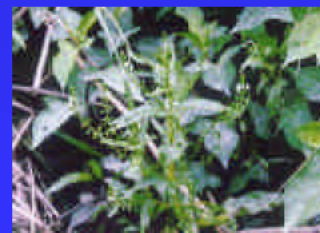
樹林、竹林、クズ



- ・ 特定種



タコノアシ



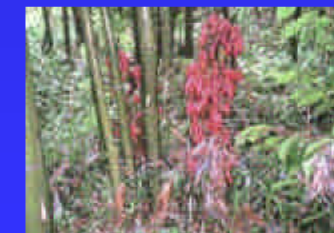
カワヂシャ



カワラハハコ



ヤナギヌカボ



ツチアケビ

1. 生物の現状

1.5 鳥類



A

- ・ 広大な開放水面と湿生草地、干潟の存在
→ カンムリカイツブリ
バン
カイツブリ
アオアシシギ
イソシギ

B

- ・ 砂礫地や草地の存在
→ ヒバリ
コサギ
アオサギ
イカルチドリ
- ・ カワウやサギ類の集団分布地

C

名神橋梁付近

- ・ 竹林や樹林の存在
→ スズメ
カワラヒワ
キジ
ヒヨドリ
- ・ カワウやサギ類の集団分布地

D

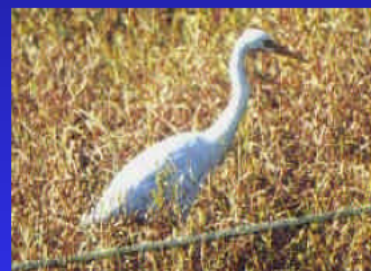
1. 生物の現状

1.5 鳥類

・ 特定種



● カンムリカイツブリ



● チュウサギ



● アカツクシガモ

● タゲリ



● オオタカ



● アカアシシギ



● チュウヒ



● コアジサシ

1. 生物の現状

1.6 昆虫

- ・ 草地に依存する種が多く、コウチュウ目、チョウ目、カメムシ目が多い



A

B

C

D

- ・ 草地の種
ショウリョウバッタ
キチョウ
- ・ 砂礫地の種
オオハサミムシ
ノグチアオゴミムシ

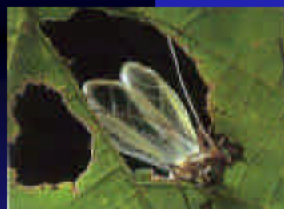
- ・ 草地の種
ホソヘリカメムシ
エゾイナゴ
- ・ 砂礫地の種
カワラバッタ
- ・ 樹林地の種
アオマツムシ

- ・ 草地の種
キリギリス
- ・ 樹林地の種
コガタスズメバチ
- ・ ササ、竹林の種
コチャバネセセリ

1. 生物の現状

1.6 昆虫

・ 特定種



● カンタン



● キリギリス



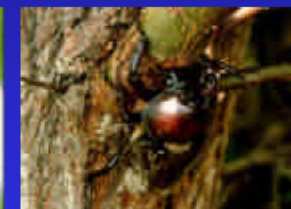
● キボシアシナ
ガバチ



● セグロアシナ
ガバチ



● シオヤアブ



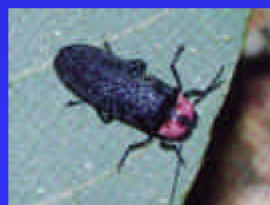
● カブトムシ



● ミズアブ



● オオモンクロ
ベッコウ



● ゲンジボタル



● キアシナガバチ



● ヒメスズメバチ



● モリチャバネ
ゴキブリ

1. 生物の現状

1.7 小動物(ほ乳類)

■ ほ乳類

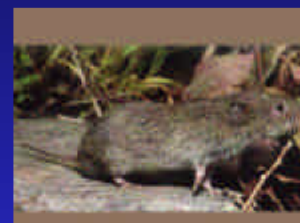
- ・ アブラコウモリ
採餌場所として河川内に広く生息
- ・ ヒミズ
高水敷の樹林、竹林に生息
- ・ モグラ属の一種
イネ科の低茎草地に生息
- ・ ネズミ類
(ハタネズミ、アカネズミ、カヤネズミ)
オギ、ヨシ等の高茎草地に生息
- ・ イタチ属の一種
採餌場所として河川内に広く生息
- ・ タヌキ、キツネ
広大な河川敷の広がる下流域を中心に生息



アブラコウモリ



ヒミズ



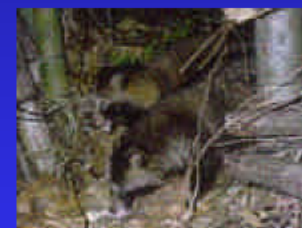
ハタネズミ



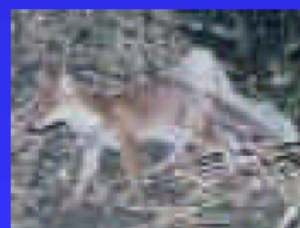
アカネズミ



カヤネズミ



タヌキ



キツネ

1. 生物の現状

1.7 小動物(両生類)

■ 両生類

- ・ 草地、草地内の水たまり、裸地の水たまりなど、水辺を中心にカエル類が生息
 - ・ アマガエル
 - ・ トノサマガエル
 - ・ ウシガエル
 - ・ ツチガエル
 - ・ シュレーゲルアオガエル



アマガエル



トノサマガエル



ウシガエル



ツチガエル



シュレーゲル
アオガエル

1. 生物の現状

1.7 小動物(は虫類)

■ は虫類

- ・ カメ類（イシガメ、クサガメ、ミシシippアカミミガメ）
本流部の水面、水際の湿地、草地内の水たまりなどに生息
- ・ ヘビ類（シマヘビ、アオダイショウ）
草地や芝地に生息
- ・ カナヘビ
草地や芝地に生息



イシガメ



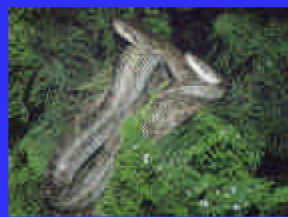
クサガメ



ミシシippアカミミガメ



シマヘビ



アオダイショウ



カナヘビ